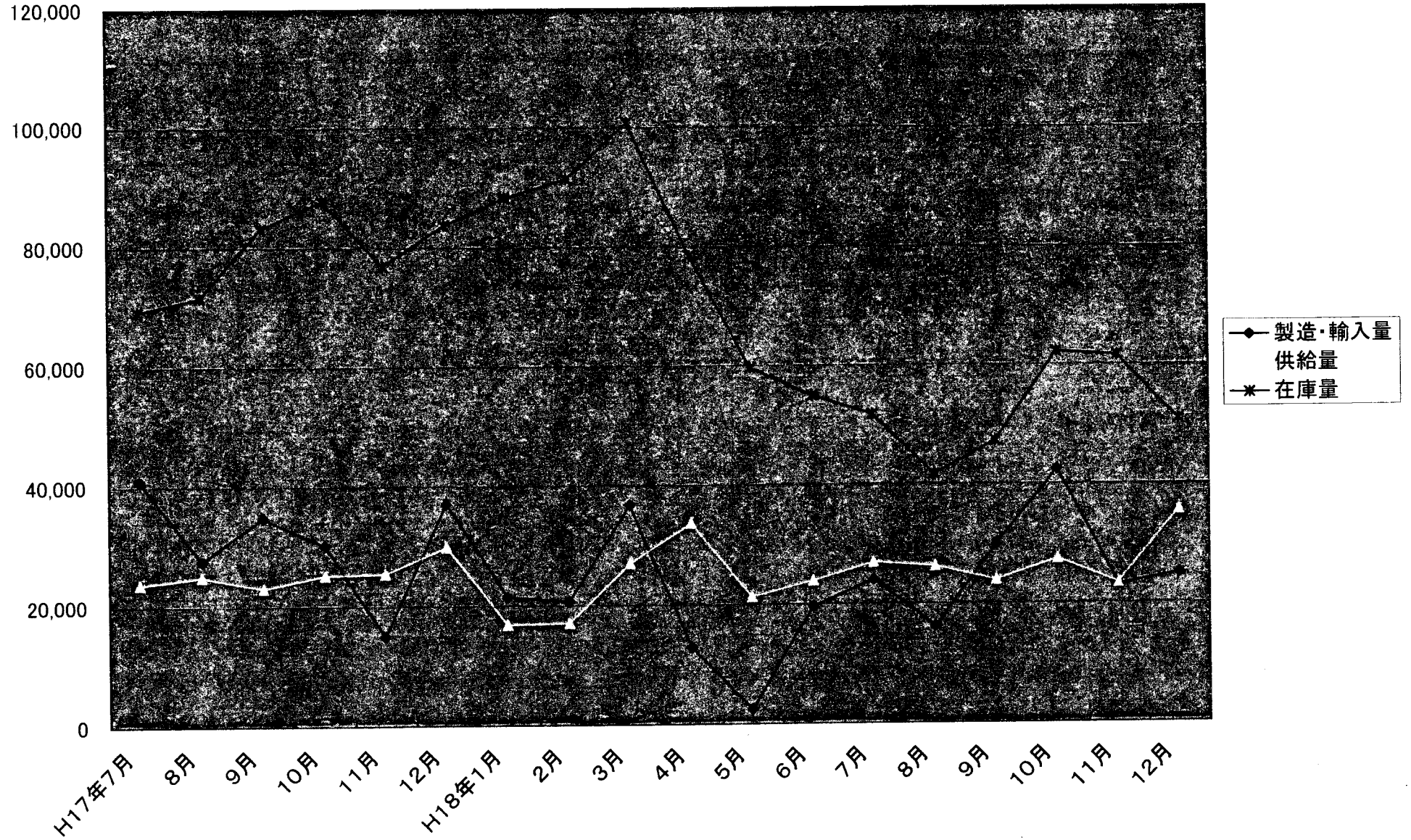
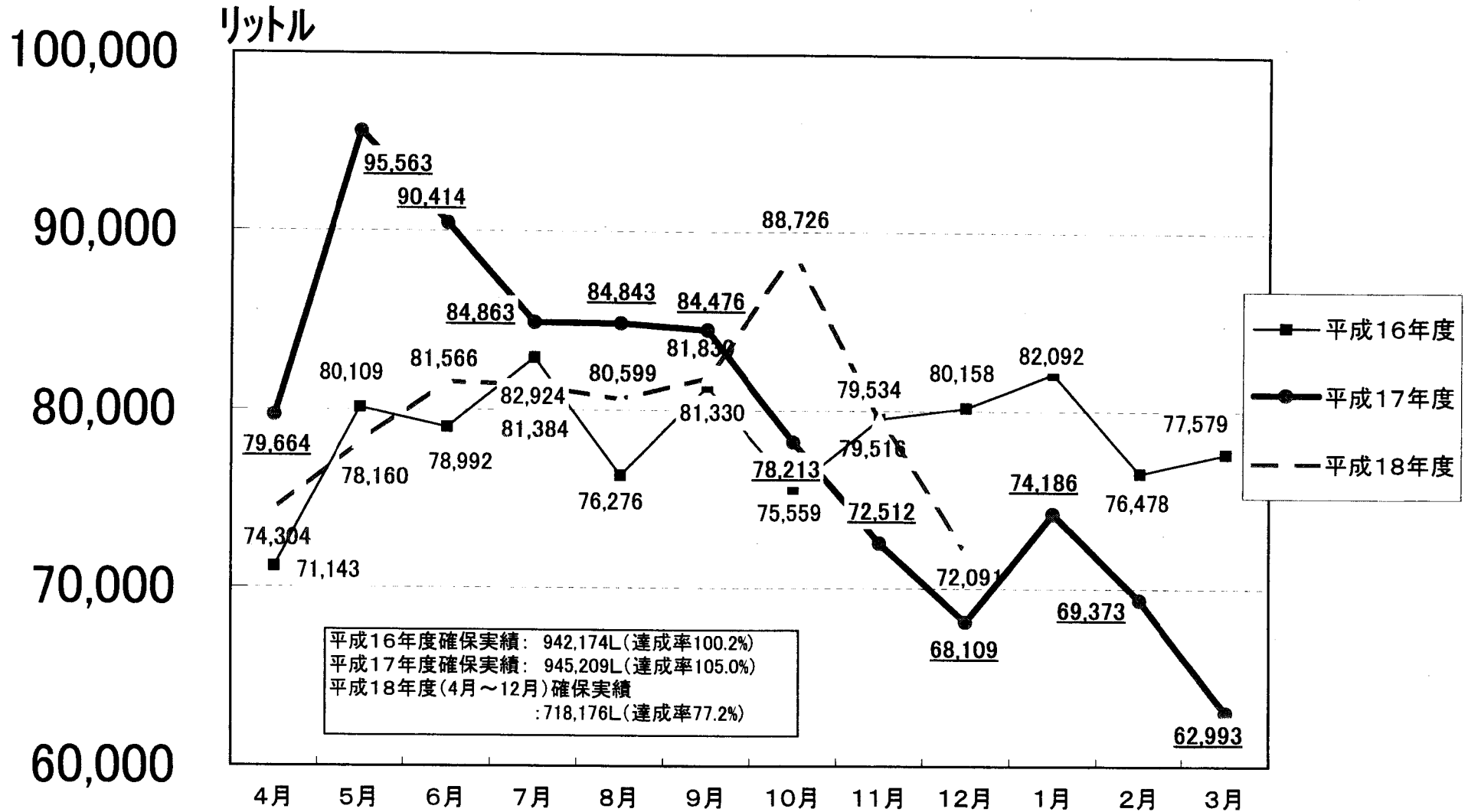


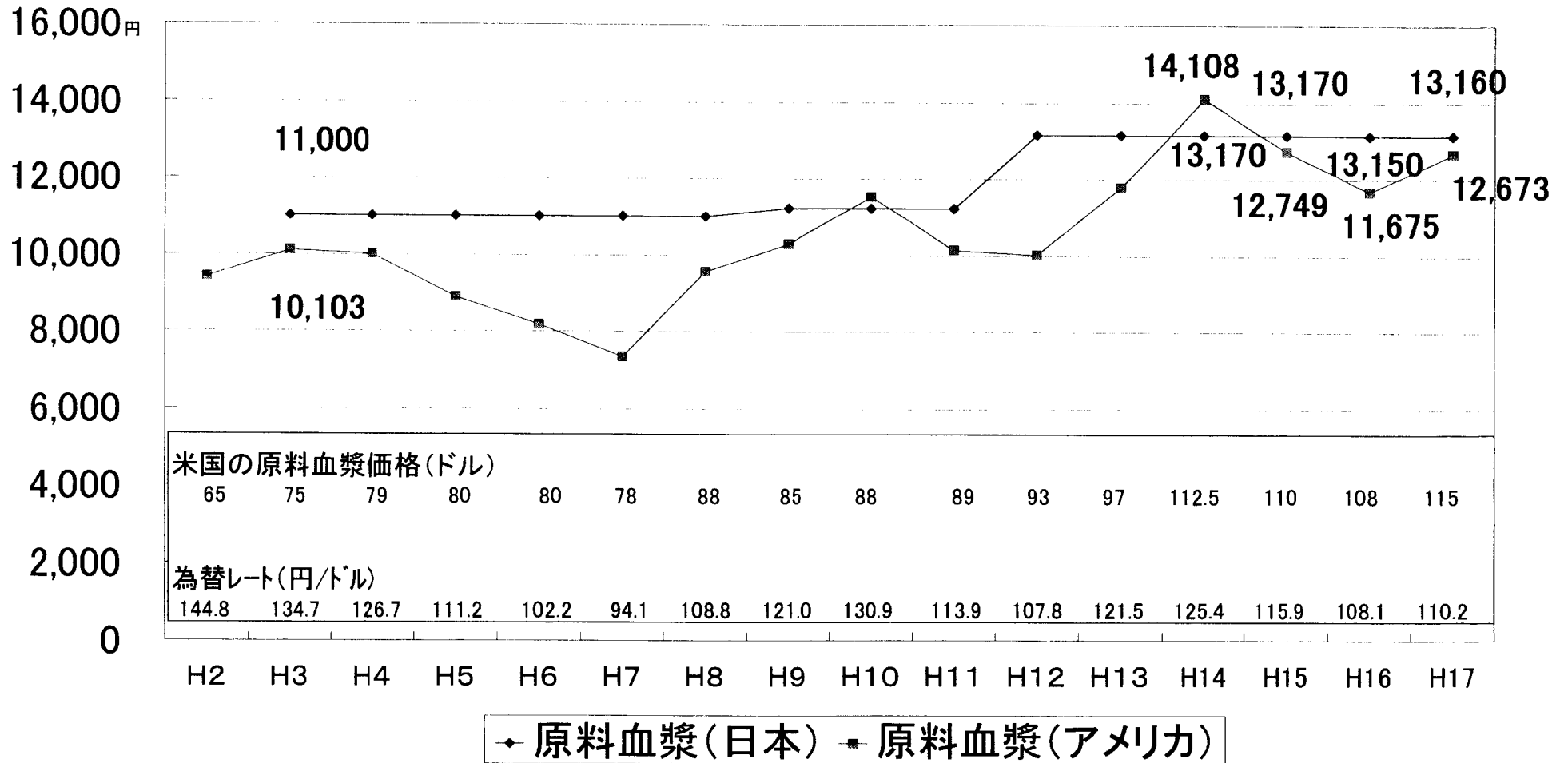
血液凝固第八因子製剤の製造量等の推移



# 原料血漿確保実績(平成16年4月～平成18年12月)



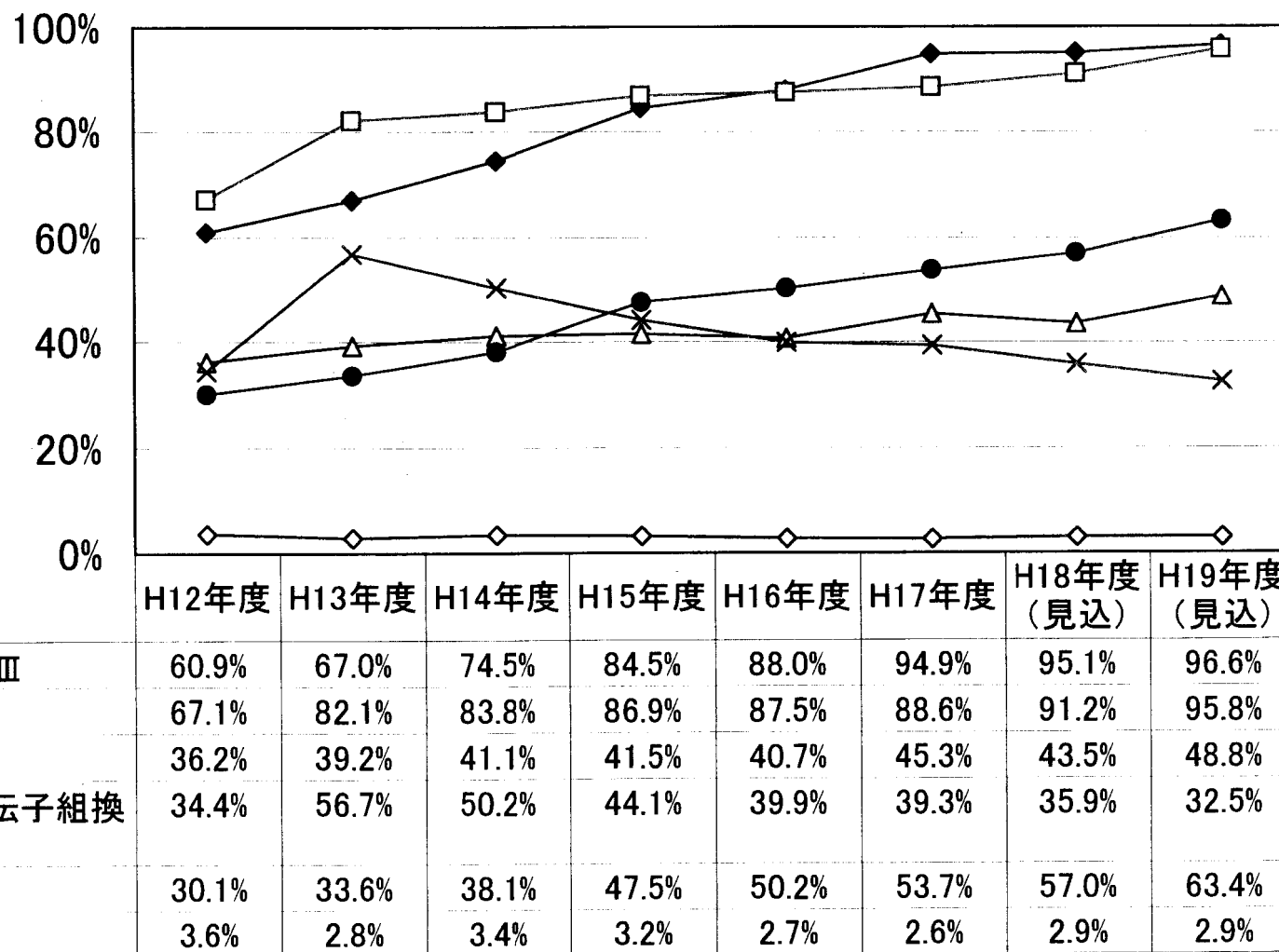
### 原料血漿価格(日米)の推移



米国における原料血漿価格はThe Plasma Fractions Market in the United States 2005より  
 (The Marketing Research Bureau Inc)  
 為替レートは IMF World Economic Outlook の1997年10月版及び2006年10月版の指標を使用。



## 主な血漿分画製剤の自給率の推移（供給量ベース）



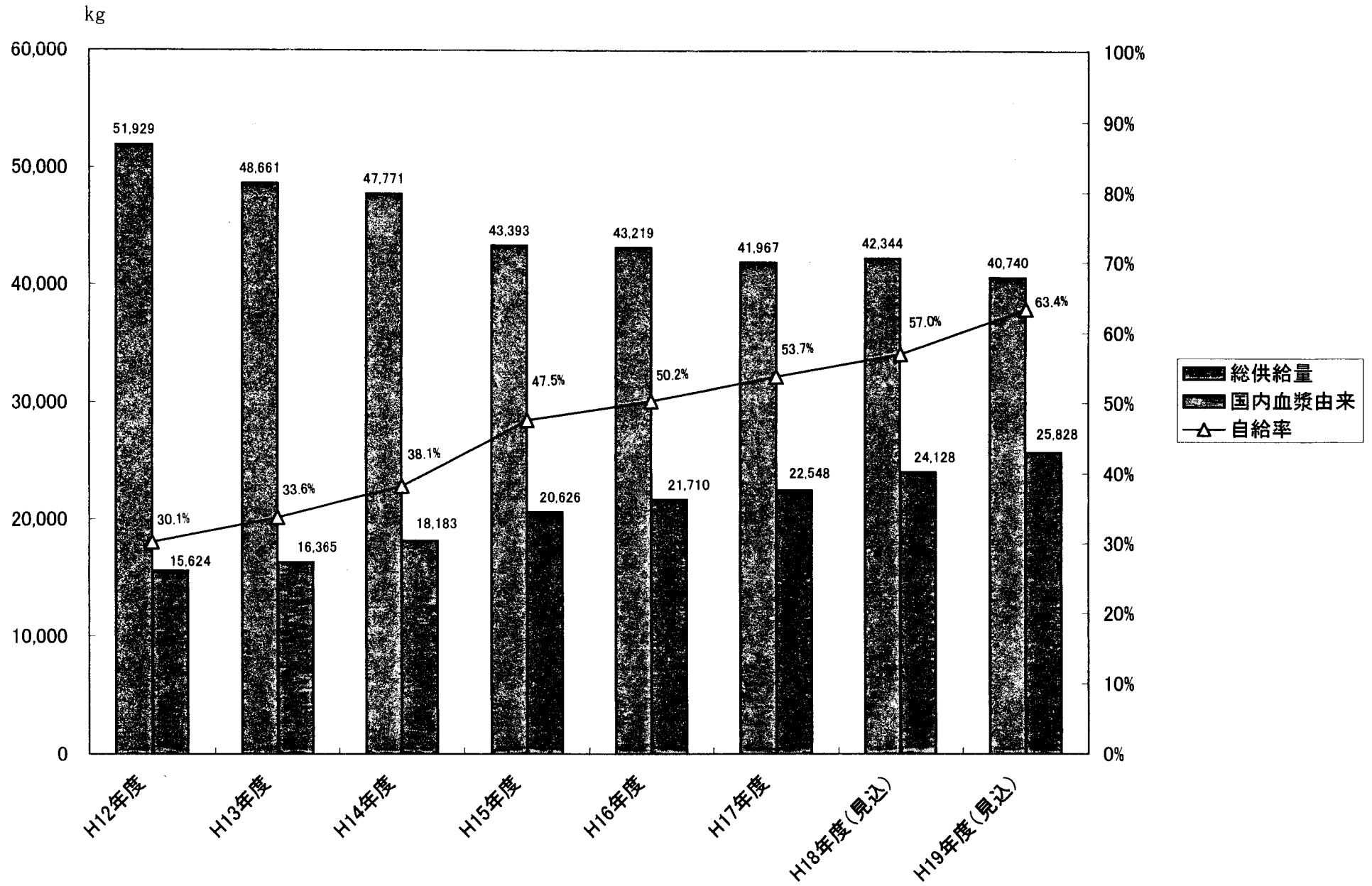
自給率100%のもの

乾燥人フィブリゲン、血液凝固第Ⅷ因子（血液由来に限る）、乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子（複合体含む）、トロンピン、乾燥濃縮人活性化プロテインC、人ハプトグロビン（見込）

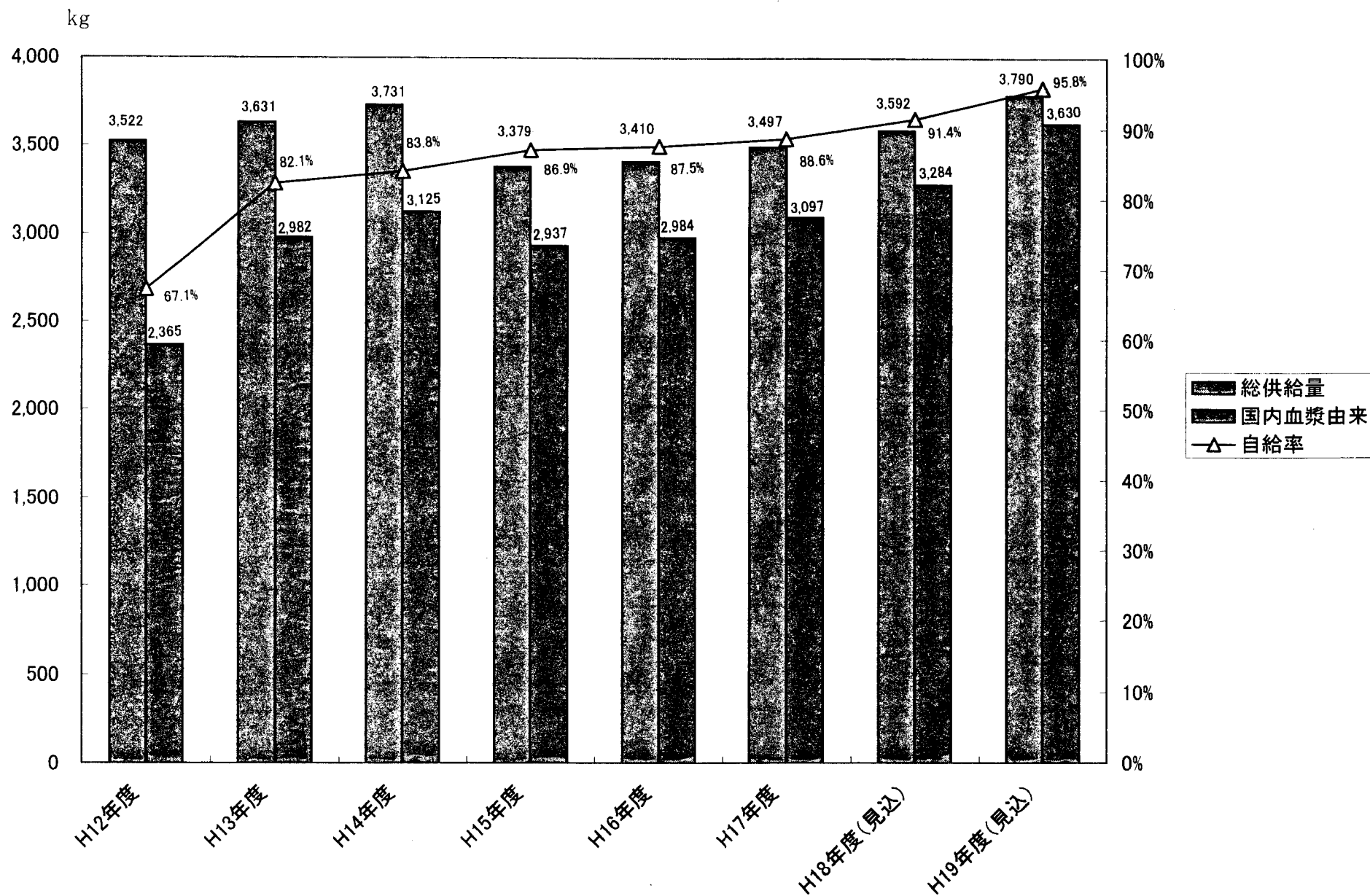
自給率0%のもの

インヒター製剤、乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子、乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン、乾燥濃縮人CI-インアクチベーター

# アルブミン製剤の供給量と自給率

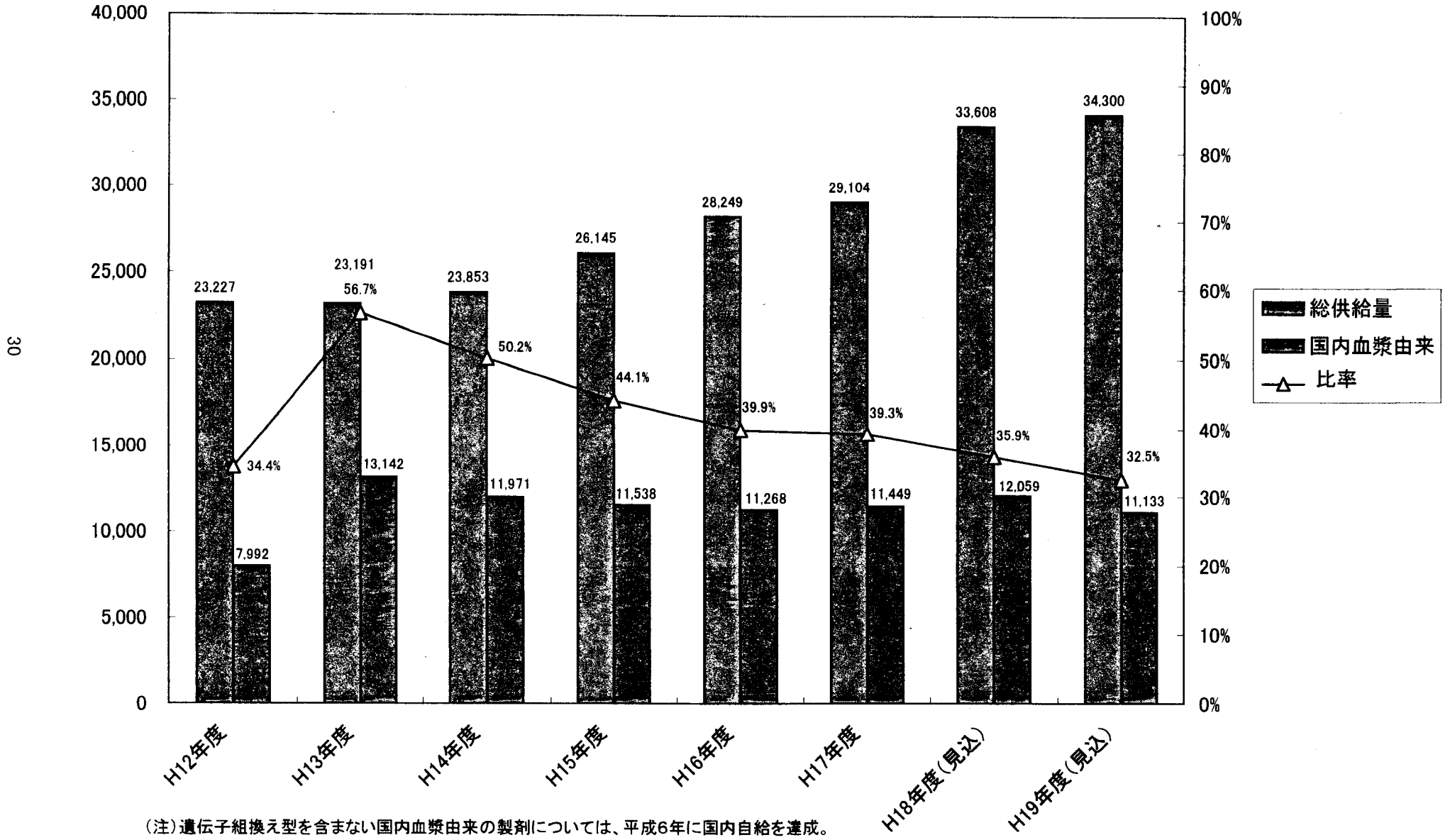


### 免疫グロブリン製剤の供給量と自給率



# 血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量(遺伝子組換え型含む) と国内血漿由来製剤の割合

万単位



(注) 遺伝子組換え型を含まない国内血漿由来の製剤については、平成6年に国内自給を達成。